

K1.8BR meeting 9/14  
木村

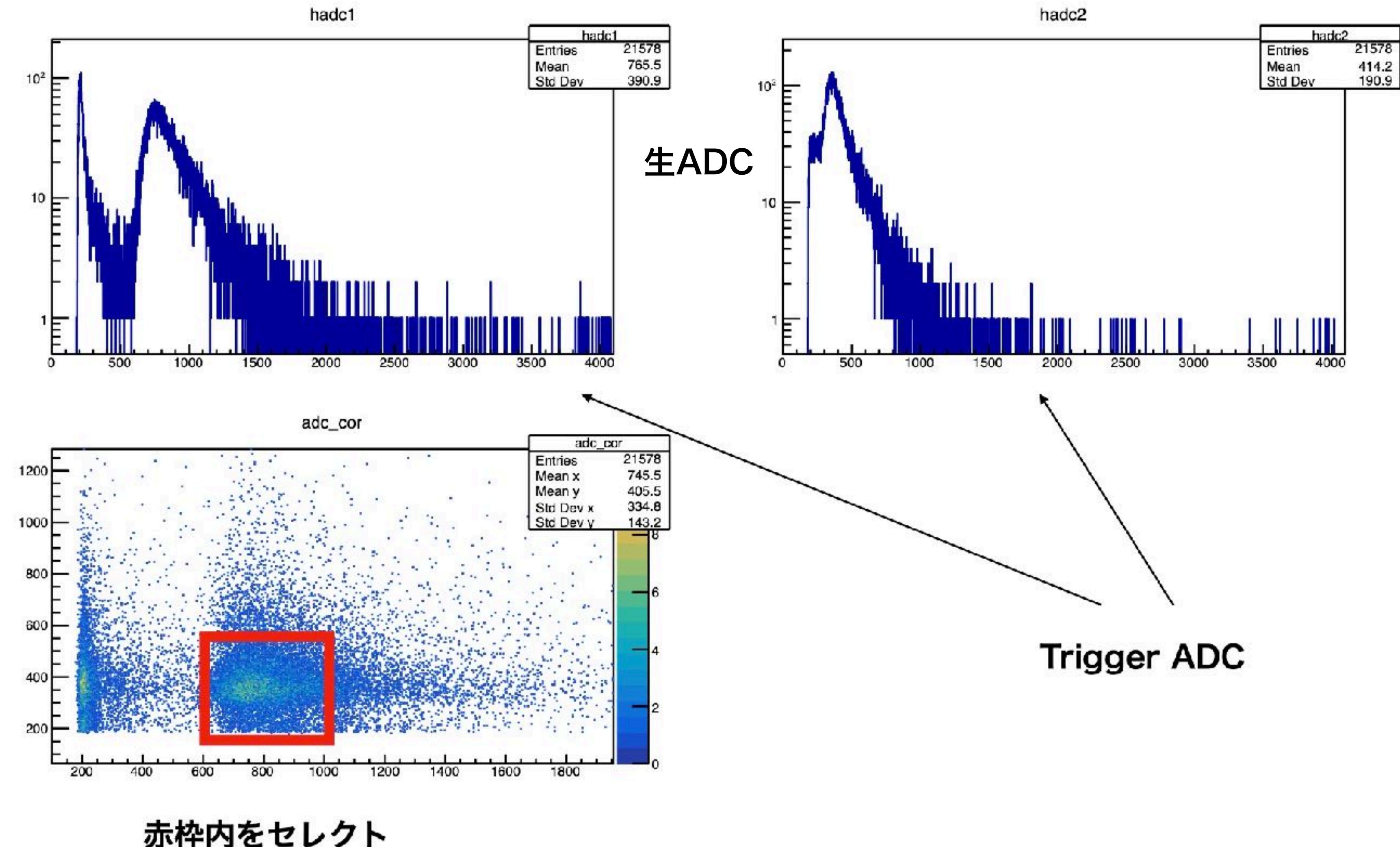
# やったこと

- ① 現状のDAQでRef1,2,mppcの時間分解能がどうなるかを調査(宇宙線測定)→別の問題が発生
- ② CNCのattenuation lengthを測定するためのHV (CAEN S5527)のセットアップ(なかなか上手くいかず、1日消費)
- ③ CNCテスト実験のためのリニアガイド(スライドレール)の鋸落とし

# ①宇宙線でDAQテスト

## 宇宙線 run 109

	HV [V]
ch1	1699
ch2	1705
ch3	1800
ch4	1800
ch5	54 (amp=10)
ch6	54 (amp=10)
ch7	1800
ch8	1800

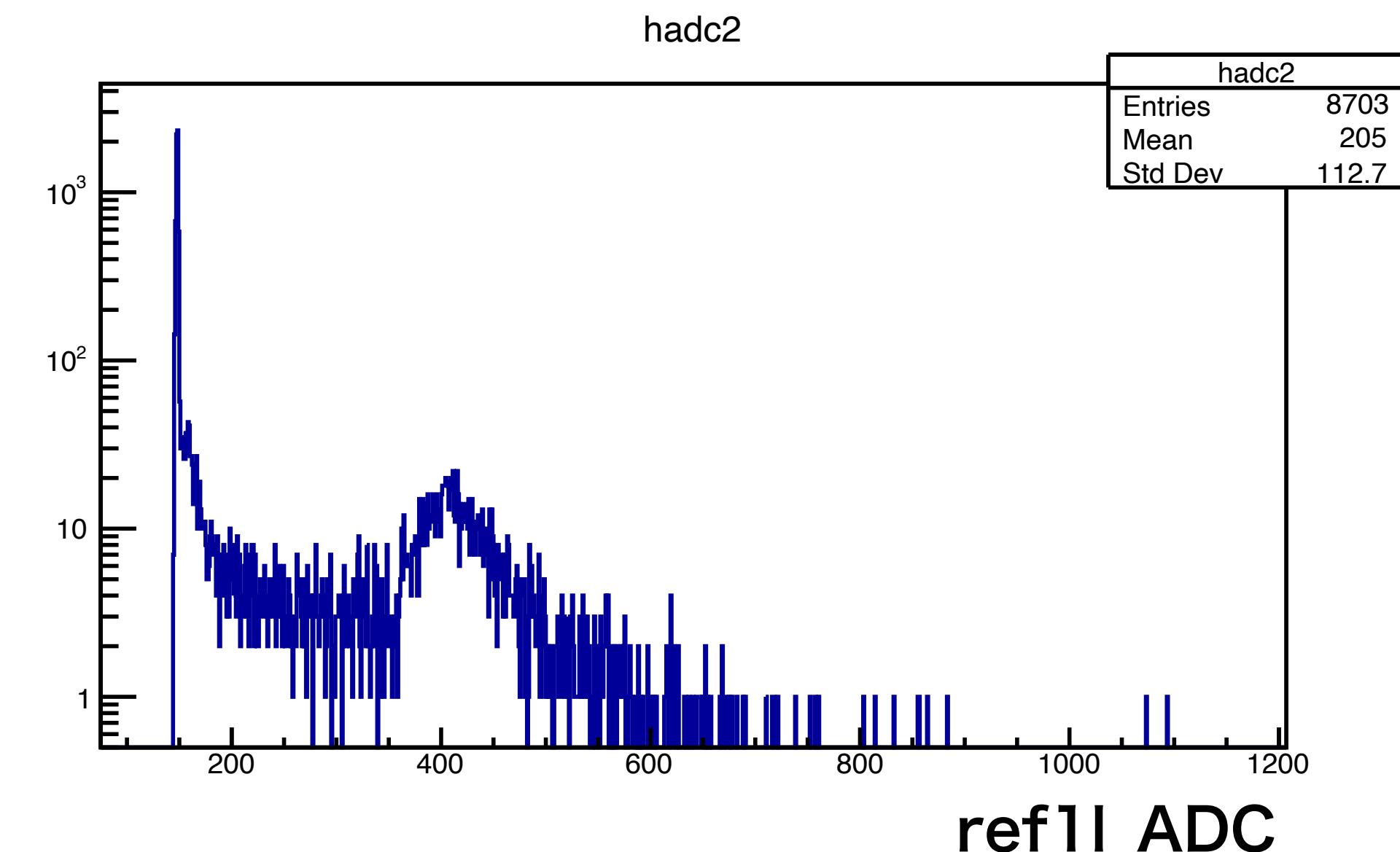
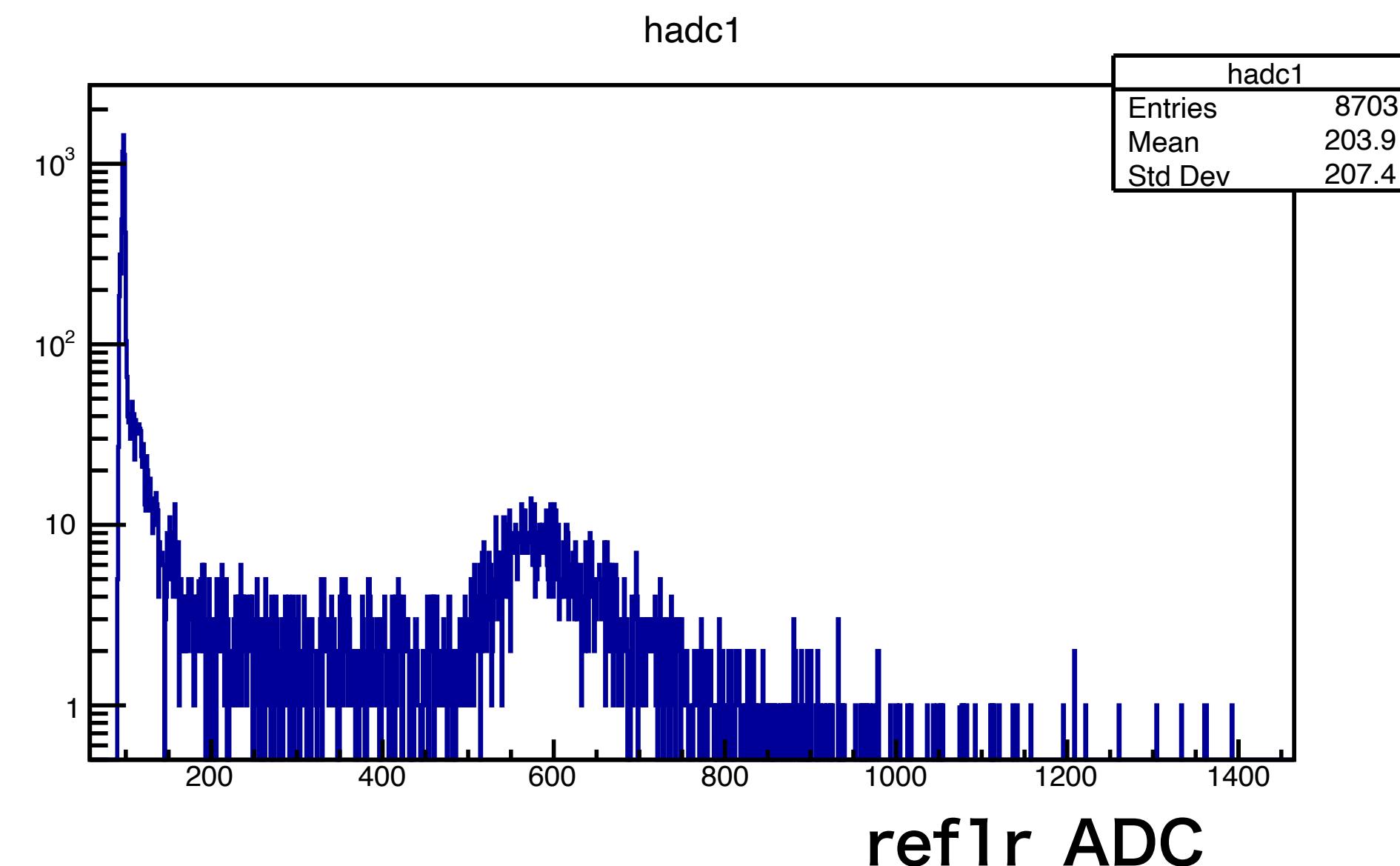
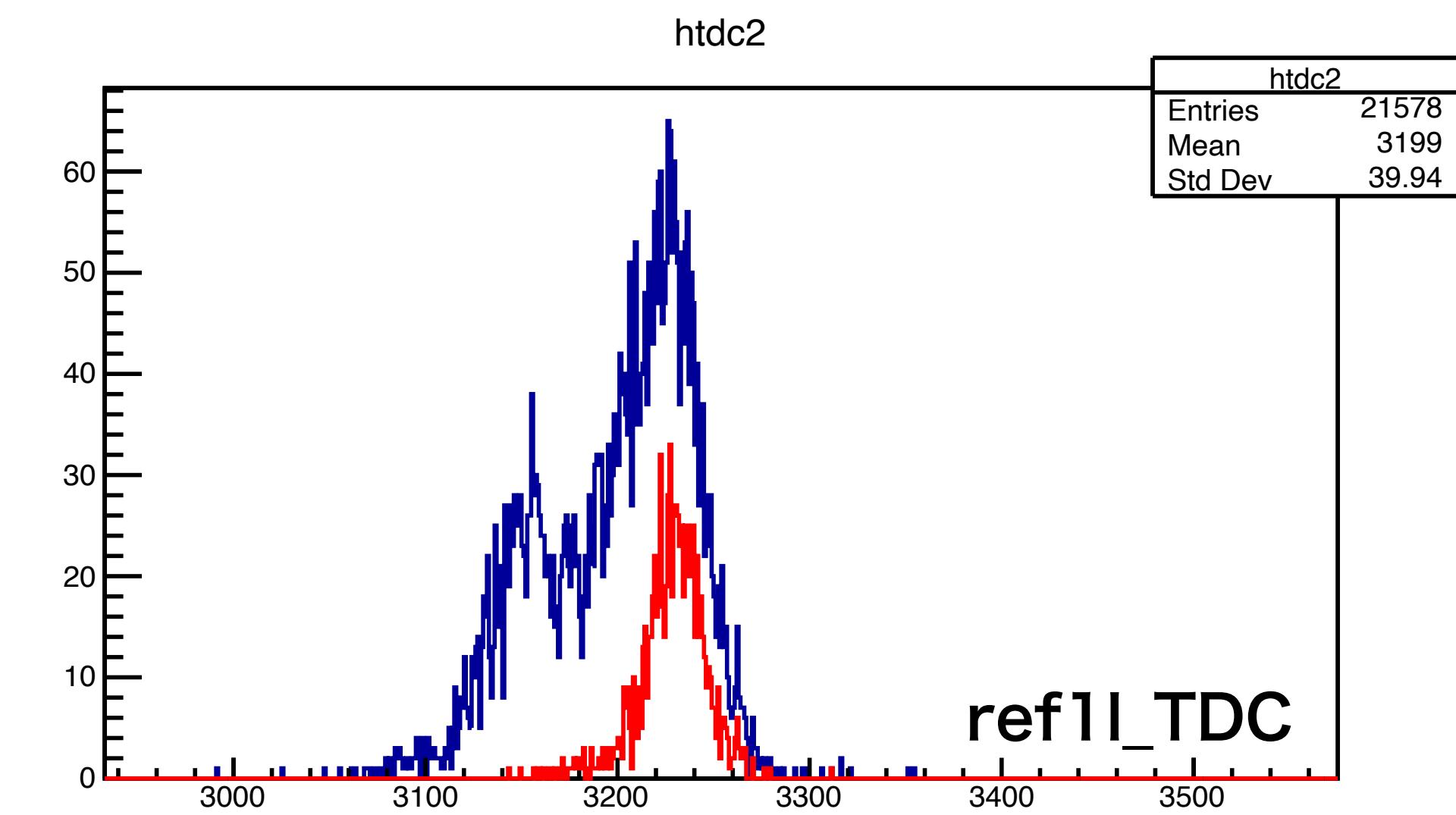
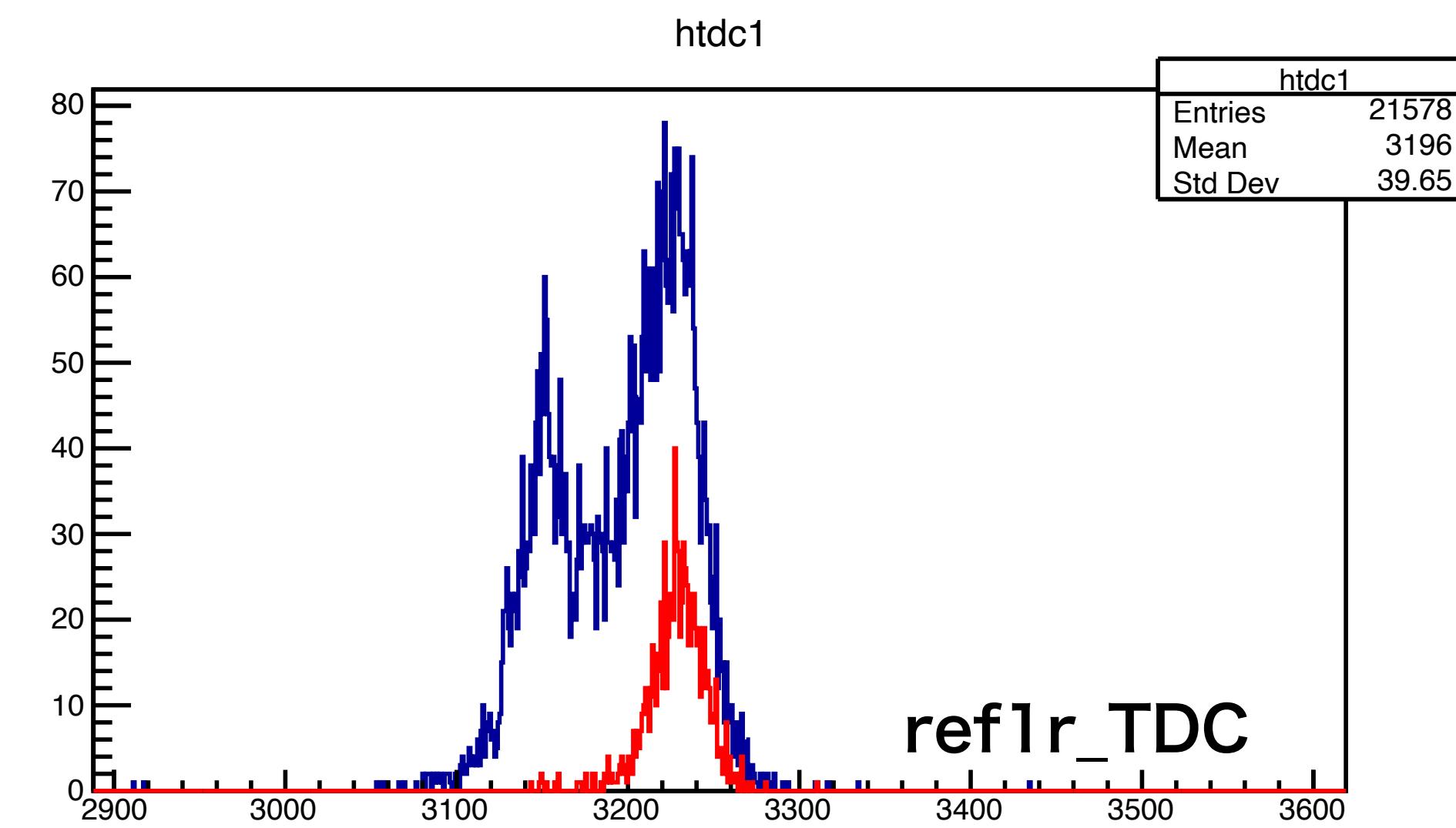


1

# TDC 2ピーカーが謎だったが、trigger条件で消えた。

run109 ref1

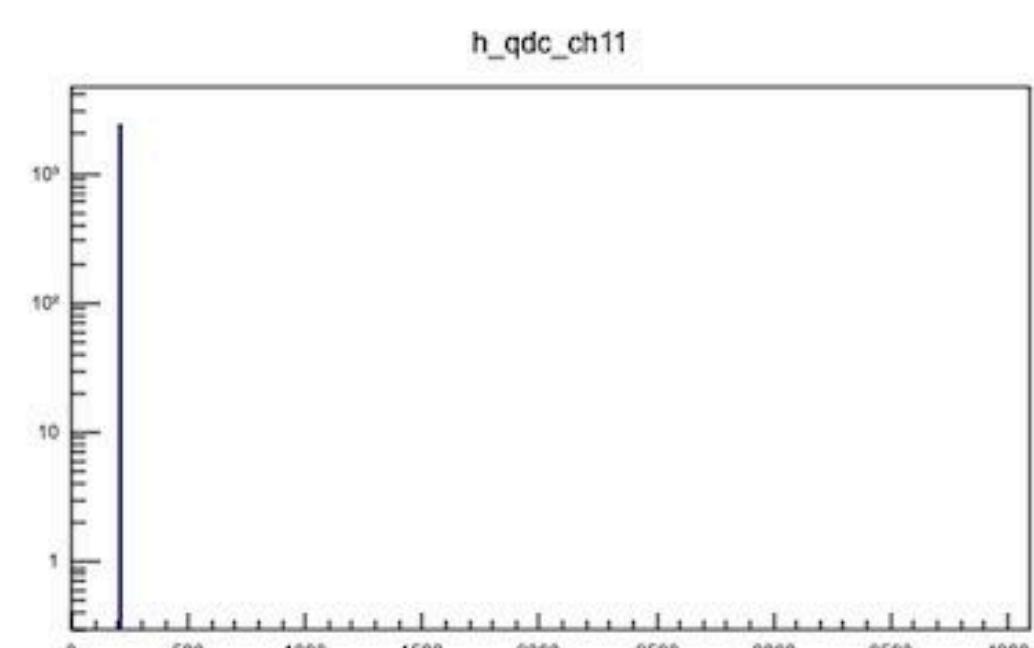
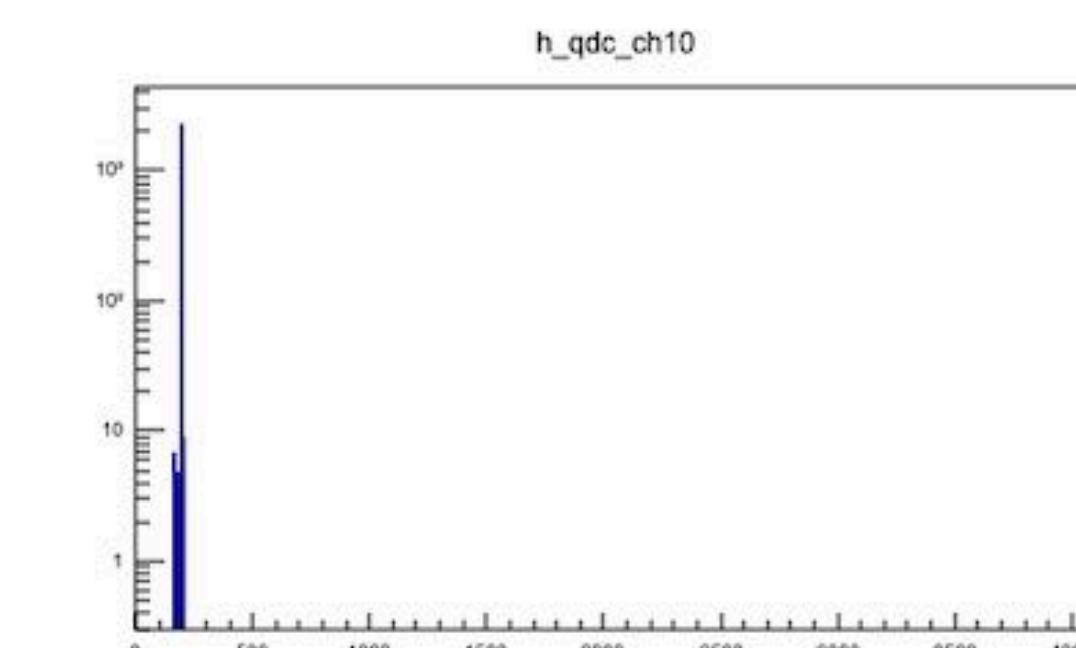
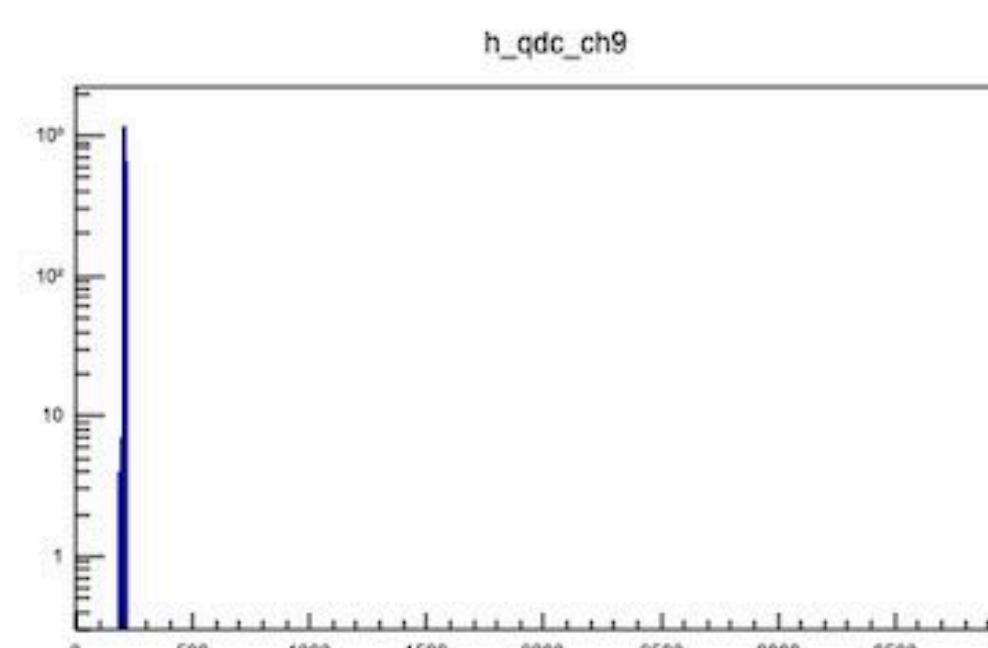
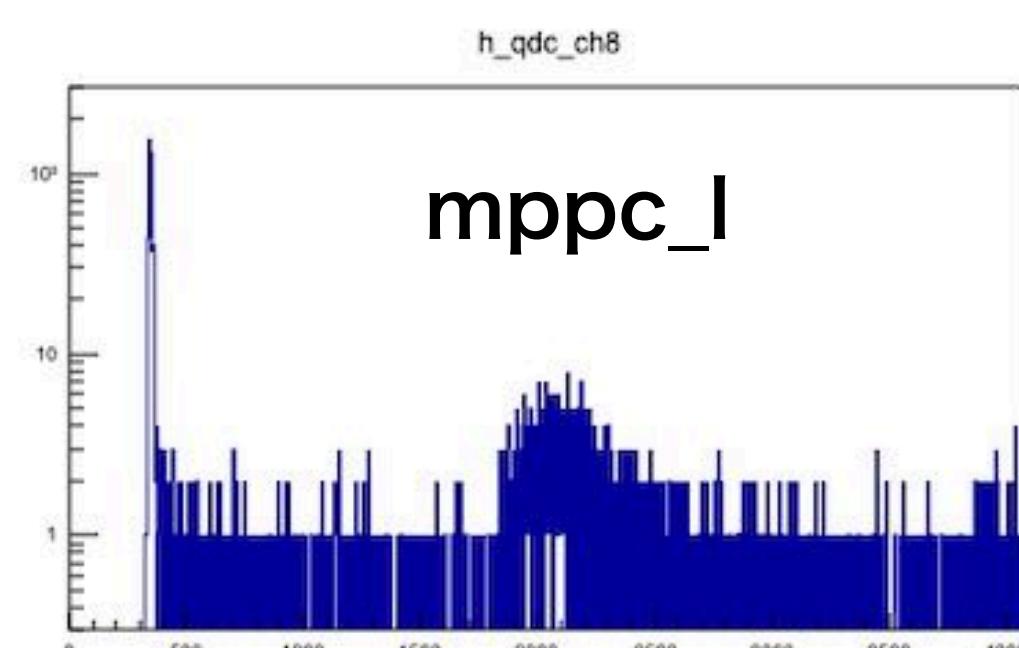
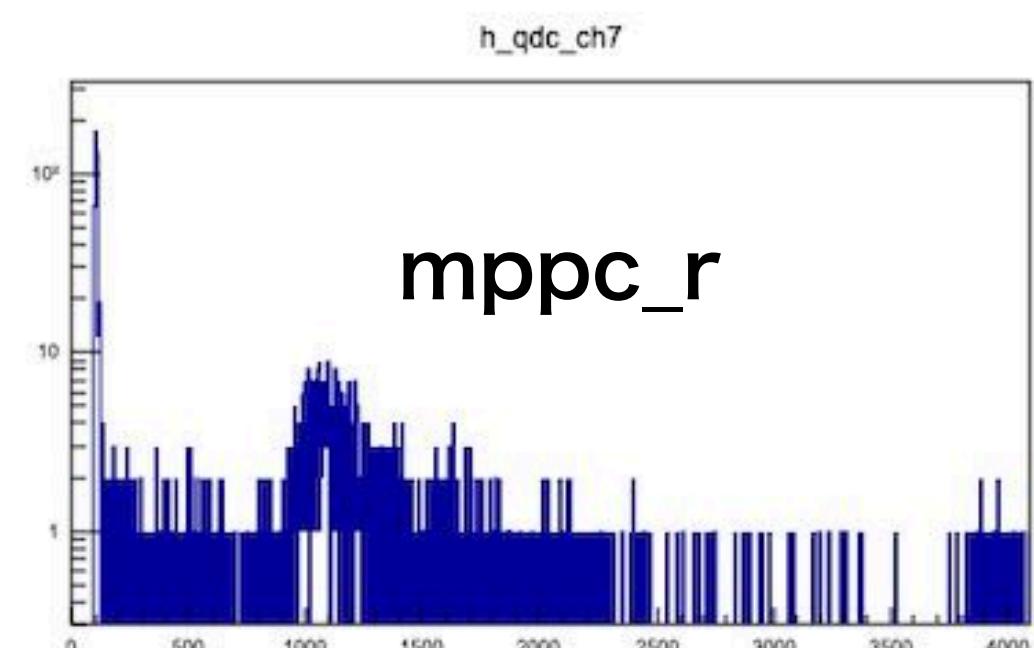
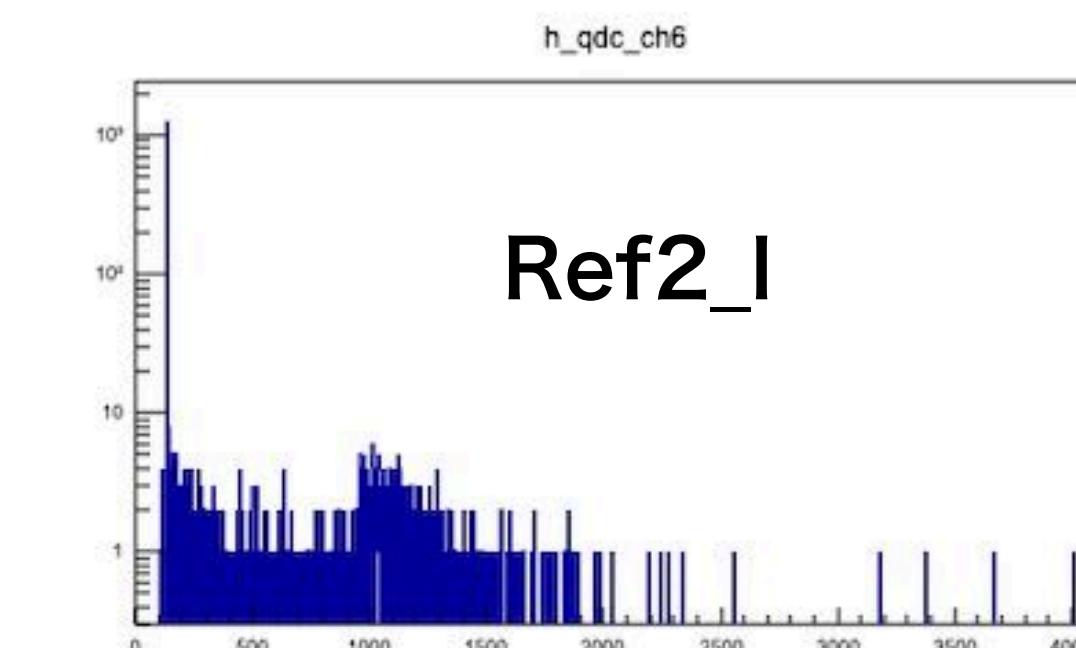
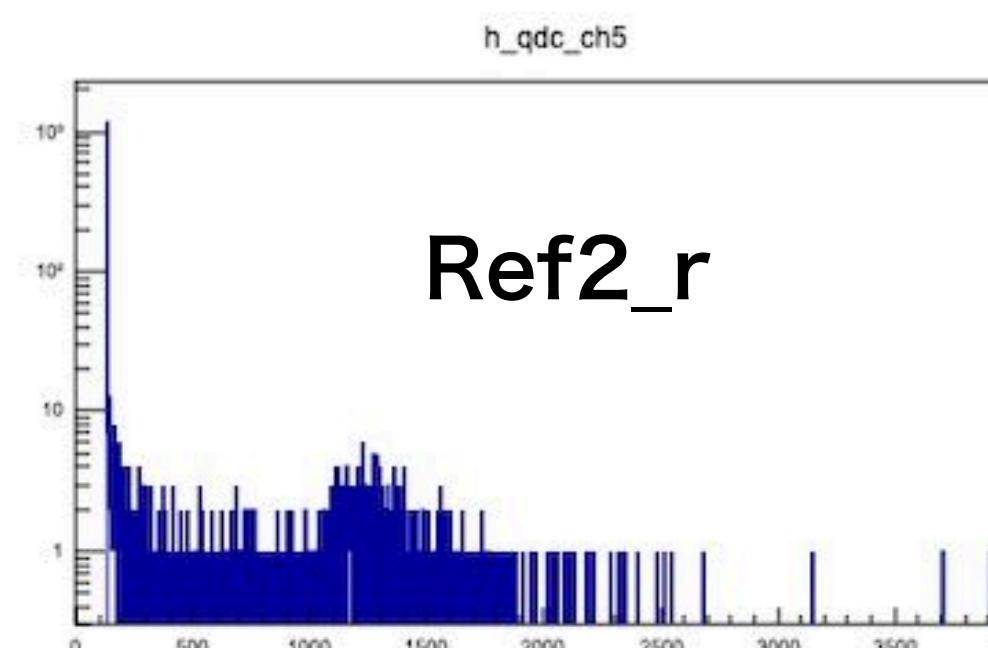
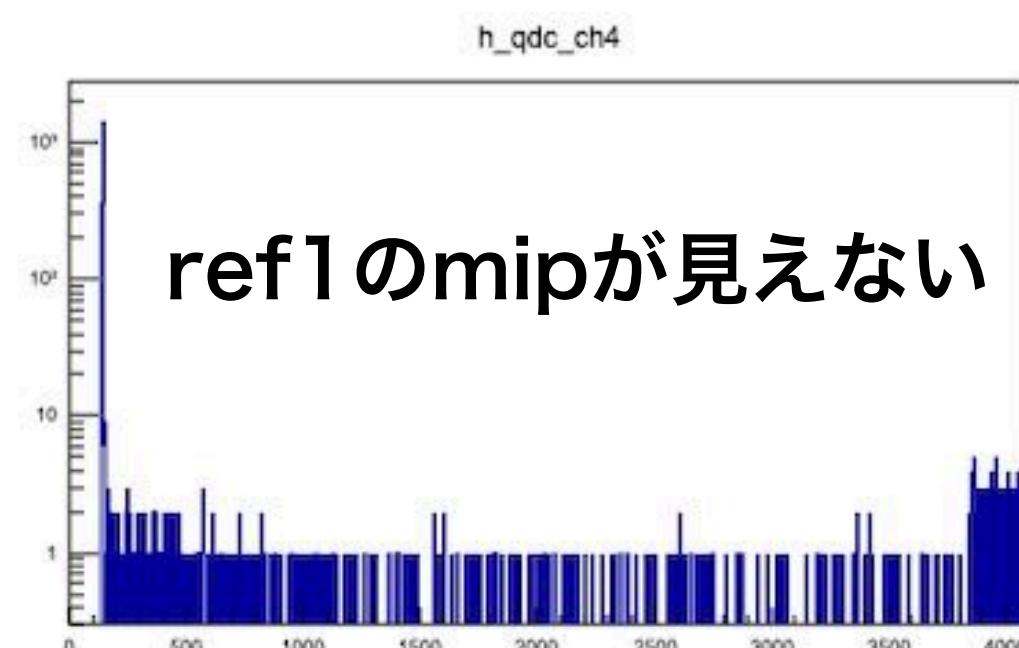
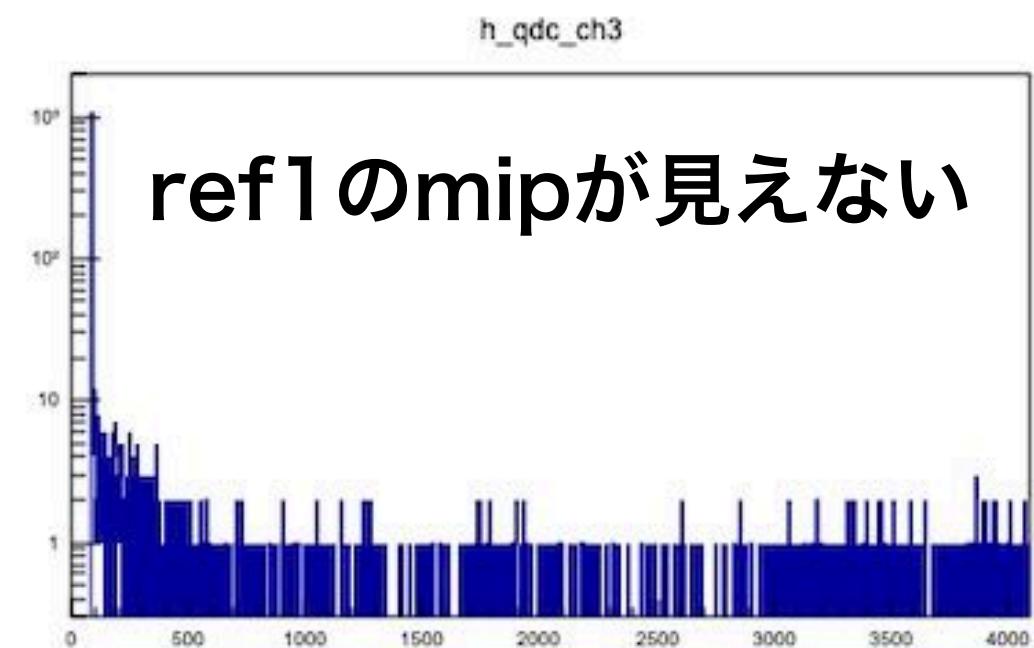
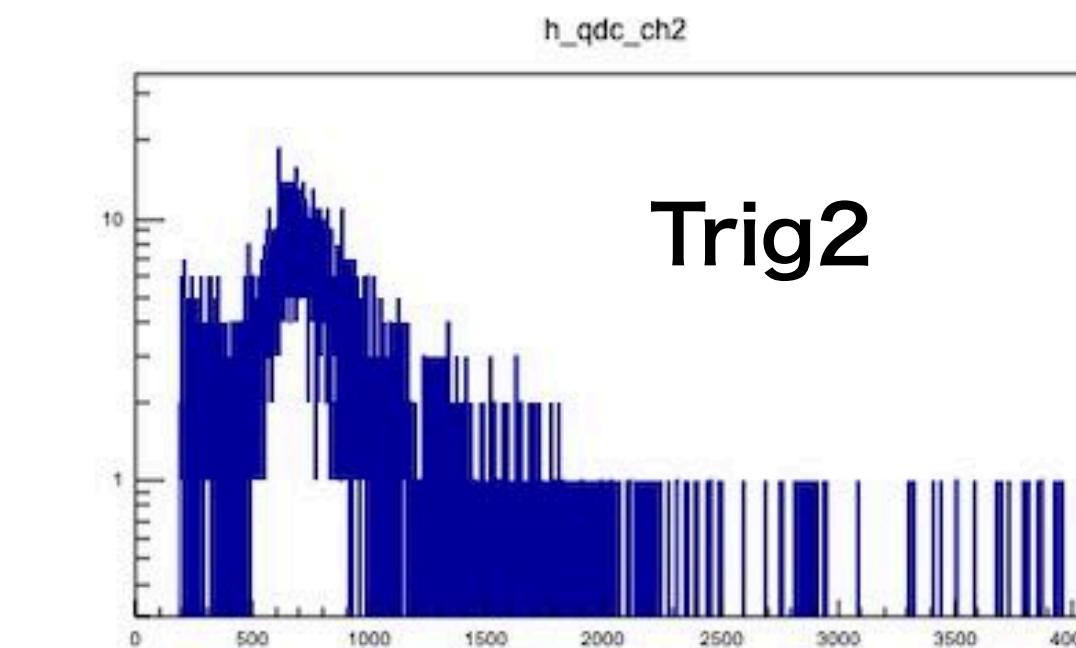
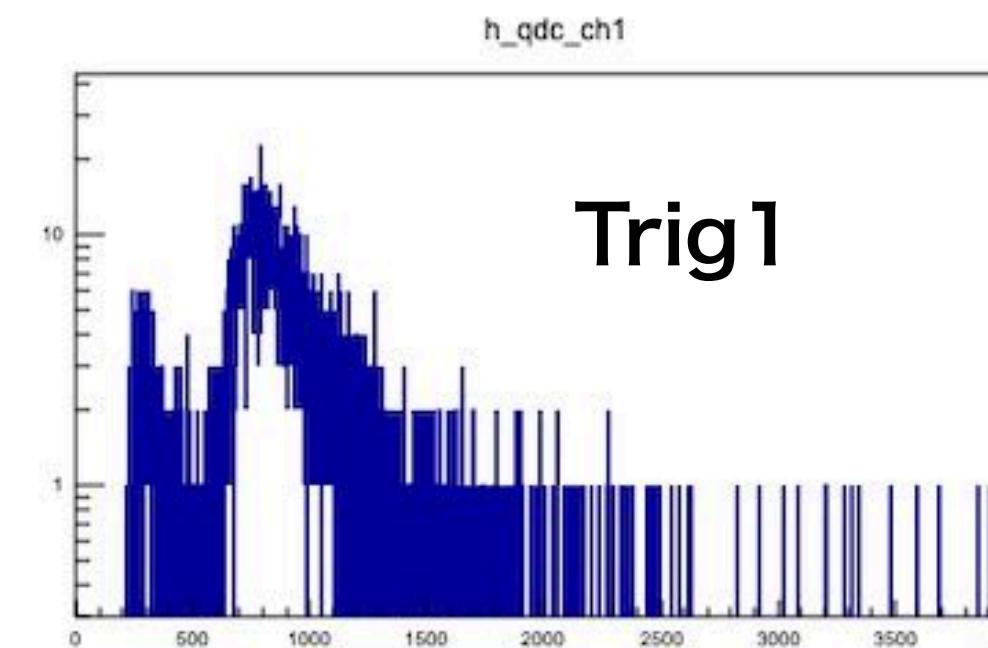
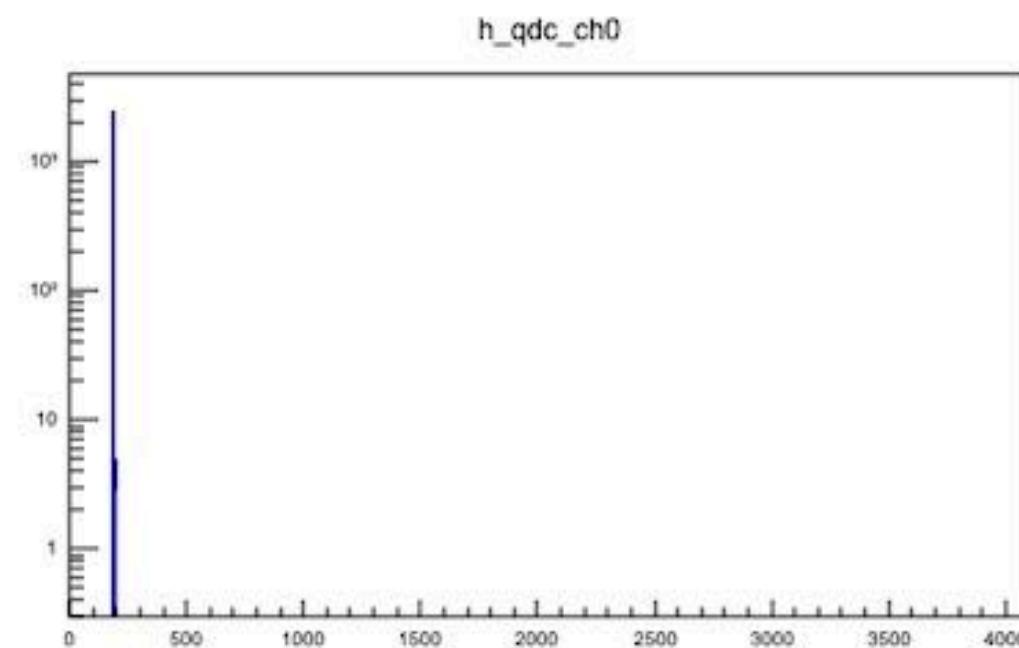
青:なま  
赤: trig window



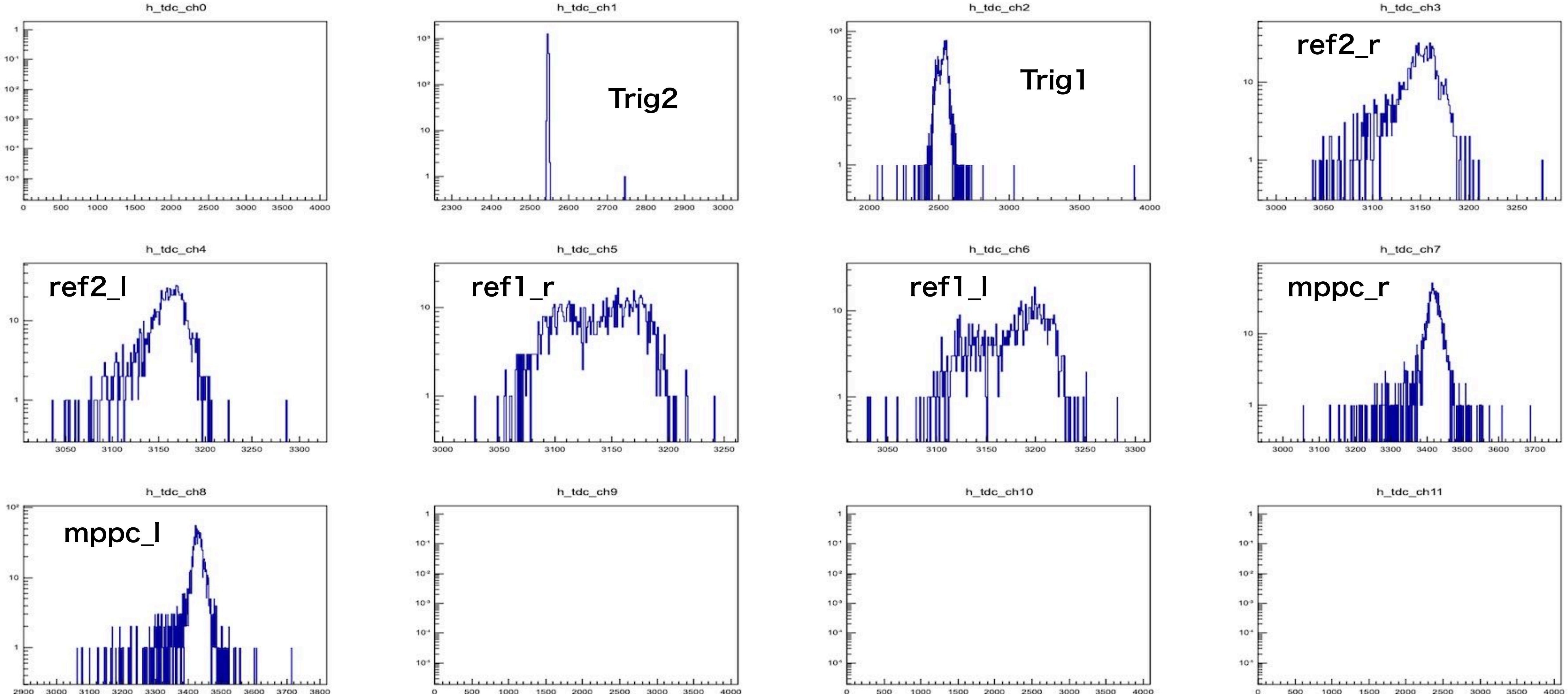
- 2ピーク問題はtrig条件で消えることがわかった。
- 各チャネルのHV, thresholdを再調整。  
(放電のひどい&TDC 2ピーク問題があった)ref1を交換。  
( `discr ch3 <→ ch5, ch4 <→ ch6` , NIM covの`ch1 <→ ch2` )  
→run134 start

# ①run134 (running now)

生ADC



# ①run134 (running now) 生TDC



やはりref1だけTDC 2ピーク、discriの問題ではないこと  
がわかった。ケーブルの問題?。trig条件で消えるか?

# 今後について

- ・ 今日~明日 ①ある程度統計たまつたらrun134から時間分解能を求める。  
②スライドレールの鋸落とし。型番確認、アルミフレーム注文。  
③線源でCNCのAttenuation length 測定。
- ・ 来週(水木金) 大阪でSPADI-AのDAQ実践キャンプがあるので時間によってはmeeting欠席します。